

まちなかの回遊性向上を目指して ～人々が集い憩う魅力ある都市空間の誕生～

来年の夏、市役所前から旧紀陽銀行和歌山中央支店ビル跡地にかけて、奥行約17m、幅約100mの新しい都市空間が誕生します。和歌山城や市役所、和歌山城ホール（令和3年秋完成予定）など、人が集まる施設を中心に、市民や観光客が集い、交流するスペースとしての期待が高まります。

☎ 都市再生課 ☎ 435-1048



完成イメージ図（今後変更になる可能性があります）

新しい都市空間

来年の国民文化祭に向けて、和歌山城ホールの建設工事が着々と進んでいます。その北側には、来年4月に開学する県立医科大学薬学部の新校舎が真新しい姿を現してきました。

これまで、公園前交差点西側から市役所前までの歩道は、一部が狭く通行しづらい状態でしたが、歩道の拡幅に併せて、旧紀陽銀行和歌山中央支店跡地から市役所前に、人々が集い憩える都市空間が誕生します。

また、これまで車道に停車していた路線バスの停留スペースも設けられ、車の流れもスムーズになります。

絶好のロケーション

隣接する市役所東庁舎と和歌山城ホールの間を南北に通る市道中橋線には、両側に歩道を配置してゆったりと歩ける空間を確保し、夜も心地よく歩ける照明を配置することで、まち歩きを楽しめる通りにします。

この通りは、北から南に歩くと

視線の先に終始天守閣を望むことができる絶好のスポットでもあります。今回広くなったスペースには天守閣を眺めながら木陰で休憩できるベンチを設置するとともに、小規模飲食店やキッチンカーによる簡単な飲食も楽しめるよう進めています。



▶中橋線から望む和歌山城（平成30年）。電線の地中化によって、整備後はさらに美しく天守閣を望むことができるようになります。

新しいまちの顔

和歌山城ホールが完成すれば、公園前交差点西側から市役所前までが、さらに開放感のある一体的な空間となります。和歌山城のすぐそばに生まれる新しい都市空間は、市道中橋線を經由してぶらくり丁界隈や南海和歌山市駅周辺ともつながり、歩いて楽しめるエリアとして新しいまちの顔となります。

人の流れを広げていく

歩いて楽しめるエリア

現在市営中央駐車場の北側に新しい市営北駐車場を整備中で、来年4月からご利用いただける予定です。また、駐車場の構造としては珍しく、通りに面した1階角地のスペースに店舗が入居できるようにしています。

市道中橋線からぶらくり丁界隈に向かう途中、かつて和歌山城の外堀であった市堀川を渡ります。現在、市堀川にかかる京橋中橋、寄合橋は夕暮れ時からライトアップされ、夜のまち歩きに彩りを添えています。また、現在京橋駐車場となっている場所には、京橋親水公園の整備を

回遊性向上を目指して

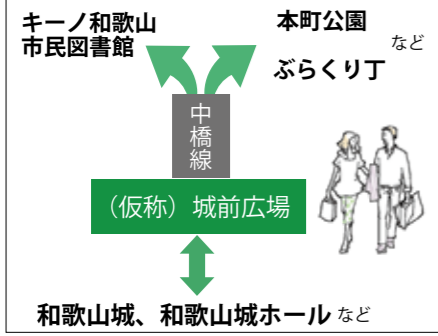
進めています。京橋親水公園沿いにも歩道が整備され、市道中橋線から本町通りまで途切れなく歩道が続くこととなります。

和歌山城や和歌山城ホール、市役所等の北側エリアは、リノベーションで生まれ変わったお店などもでき、じっくり歩いて楽しめるエリアになりつつあります。今回の新しい都市空間の誕生により、人の流れを広げていく拠点として周辺に多くの賑わいが生まれるように活用していきます。



市営北駐車場（来年4月供用開始予定）1階に店舗スペースを設置するなど、中橋線自体が歩いて楽しい空間に。

人の流れ（イメージ）



つながるまちなかと私たちの1日

case 1 地元の方

市役所に用事があるので、車を市営駐車場に停めて窓口で手続き
次の予定まで、広場でコーヒーを飲んで休憩
商店街へ寄り道、買い物をして帰宅



case 2 大学生

登校し、午前中の授業を受ける
昼休みは本町公園で友人とランチ
授業終わりに友人と待ち合わせ、歩いてまちなかで夕食



case 3 観光客

和歌山城を歩いて観光
広場にある木陰のベンチで一旦休憩
食べ歩きしてキーノ和歌山に到着
夕食を楽しみ、そのまま宿泊



▶現在、工事のため本庁舎南玄関を閉鎖しています。ご迷惑をおかけいたしますが、東・西・北玄関など別の出入口をご利用ください。閉鎖期間は来年2月までの予定です。何卒、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。※詳細は市HP（ID：1031300）